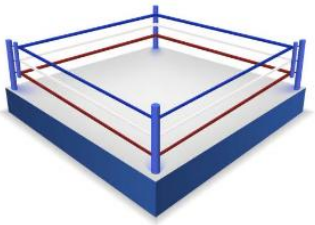
創徳中学校通信



勝者だからこそ

新チームで挑む、鈴亀地区中学校新人大会が近づいてきました。試合なので勝敗を決しなければなりません。つまり、一試合終われば必ず勝者と敗者が生まれるわけです。

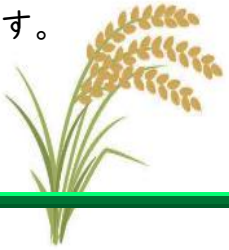
勝負の格言として「勝っておごらず、負けて腐らず」という言葉があります。「勝った時は誇ったりせず謙虚にし、負けたときは落ち込まずに心のバネとして次に生かす」ということでしょうか。

かつて、試合に臨む姿勢を問われたあるアスリートの言葉が忘れられません。その選手はＷＢＣ世界バンタム級チャンピオン、ＷＢＣ世界フェザー級チャンピオン、ＷＢＣ世界スーパーバンタム級チャンピオンと世界３階級を制覇した長谷川穂積というプロボクサーです。(2016年引退)

その彼がどのような気持ちで試合に臨むのかインタビューで問われたとき「相手の夢を打ち砕く」そんな気持ちで準備しているというような回答をしていました。これを聞いて私は、「言わんとすることは理解できるが、表現が攻撃的で乱暴だな」と最初は感じました。彼は続けて「お互いチャンピオンになるという夢と夢のぶつかり合い。自分の夢を叶えるというよりは『相手の夢を打ち砕く』という強い気持ちがないとチャンピオンにはなれない」さらに、「世界タイトルマッチともなれば勝者と敗者ではその後の人生が大きく違ってくる。勝者には多額のファイトマネーが入り、次の試合も必ずセッティングされる。しかし、敗者はよほど努力しない限り再び世界戦のリングに上がることはない。もしかしたらそのまま引退ということになるかも。**だからこそボクサーとして、人として恥ずかしくない生き方をしなければならない**と思っている。」と語っていました。

相手の夢を打ち砕いた勝者の責任とでもいうのでしょうか、勝者としての彼の生き方を見れば、かつてグローブを交えた対戦相手も「あいつと戦えて良かった」「あいつに負けたのなら仕方がない」と思うのではないでしょうか。

今、あなた達は新人戦を前にして、勝敗がすべてと思っているかもしれません。しかし、結果だけで評価されるわけではありません。試合に臨むまでの努力、試合後の振る舞いなどトータルで競技者として、人としての評価につながります。健闘を祈ります。

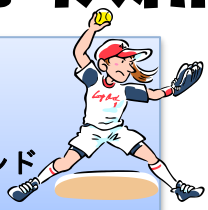


【私の座右の銘】　実るほど頭を垂れる稲穂かな

鈴亀地区中学校新人大会などの日程

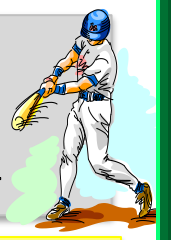
れいきちくちゅうがっこうしんじんたいかい　にってい

ソフトボール部



〇日時：１０月５日（土）
〇会場：関Ｂ＆Ｇ海洋多目的グラウンド
〇１回戦対戦校：天栄中学校

野球部



〇日時：１０月６日（日）１１：００～
〇会場：西野公園野球場
〇２回戦対戦校：神戸中と天栄中の勝者

ソフトテニス部

〇日時：団体　１０月１２日（土），１３日（日）
　　個人　１０月１３日（日）
〇会場：鈴鹿市営コート
〇２回戦対戦校：鈴峰中 対 白子中の勝者

男子バスケットボール部

〇日時：１０月５日（土）
〇会場：神戸中学校　１１：４０～
〇１回戦対戦校：亀山中学校

バレーボール部

〇日時：１０月５日（土）
〇会場：西部体育館
〇リーグ対戦校：亀山中　１３：３０～
　　関中　１４：３０～

女子バスケットボール部

〇日時：１０月５日（土）
〇会場：神戸中学校
〇１回戦対戦校：亀山中部中学校

卓球部

〇日時：団体　１０月５日（土）
　　個人　１０月６日（日）
〇会場：ＡＧＦ体育館

サッカー部

〇日時：１０月５日（土）
〇会場：大木中学校
〇リーグ対戦校：白子中　９：００～
　　神戸中　１４：００～

陸上競技部

〇日時：１０月１２日（土）
〇会場：ＡＧＦ鈴鹿陸上競技場

吹奏楽部

「三日市祭り」への参加
〇日時：１０月１３日（日）
〇会場：飯野小学校　体育館
「ふくふくまつり」への参加
〇日時：１１月３日（日）
〇会場：デイサービス　きらめき

合唱部

「三日市祭り」への参加
〇日時：１０月１３日（日）
〇会場：飯野小学校　体育館

＜部活動などの教育活動における成果＞

ぶかつどう　きょういくかつどう　せいか

〇丸山杯秋季体操大会（9/1）
・新体操２部種目別ボール　２位　　５位
・新体操２部種目別クラブ　優勝
〇令和６年度　鈴鹿市小・中学校児童生徒科学作品展への出展

〇第 68 回日本学生科学賞三重県展への出展
〇鈴鹿市防火ポスターコンクール
【市長賞】　【消防長賞】　【教育長賞】　【防火会長賞】